

NICU (Neonatal Intensive Care Unit)

診療科 小児科

病床数 6床

看護師数 看護師長1名、副看護師長2名、看護師18名

看護体制 3対1看護体制

主な疾患

超低出生体重児（1000g未満）、極低出生体重児（1500g未満）、低出生体重児（2500g未満）、早産児（在胎28週～36週未満）、新生児仮死、呼吸障害（RDS・TTN・MASなど）、新生児黄疸、重症感染症疑い、新生児低血糖、骨髄異常増殖症（TAM）、遺伝子疾患（21トリソミーなど）、二分脊椎、脊髄髄膜瘤

治療・検査

小さく生まれた赤ちゃんや、生まれながらにして疾患をもつ赤ちゃんの「後遺症なき生存」を目標に治療、ケアを行っています。多職種と連携し、ご家族に寄り添った看護を提供しながら赤ちゃんの成長・発達を支援しています。赤ちゃんの疾患や状態に合わせて、主に人工呼吸器管理、光線療法、一酸化窒素吸入療法、輸血、交換輸血、脳波検査、術後のケア、腰椎穿刺、骨髄穿刺、化学療法、脳室ドレナージ、などを行っています。

看護の特徴

NICUは早産、低出生体重児、超低出生体重児、新生児仮死、呼吸障害などハイリスク新生児を対象とした新生児集中治療室です。

NICUでは、お母さんのおなかの中にできるだけ近い環境をつくり、赤ちゃんの成長と発達を促すために、ディベロップメンタルケアに基づいて看護を提供しています。保育器を使用して呼吸・体温管理のサポートや、アイマスク・クベースカバーを使用し光刺激からの保護、おしゃぶりやホールディングにより痛みの緩和ケアなどを行っています。また、ポジショニングとして、おなかの中にいたときの姿勢に近い体勢をとることで、赤ちゃんの呼吸・消化のサポートや、安静の保持・ストレス緩和に努めています。

NICUに入院している赤ちゃんはお母さんと離れて過ごしており、母児分離状態となります。面会時にはご家族の方と、タッチング・検温・おむつ交換・抱っこ・カンガルーケア・授乳などのケアを赤ちゃんの状態に合わせてながら行い、ご家族と赤ちゃんがしっかりと触れ合う時間をもつことで、愛着形成促進につながるよう支援しています。また沐浴実習や授乳、内服方法などの育児指導や、長期入院の赤ちゃんでは必要に応じて長時間面会を行い、退院後の生活がイメージできるように退院支援を実施しています。



NICUの様子

お母さんによる授乳

ポジショニング